

# GRAPPLER PREMIUM

## 150XG 151XG

### 取扱説明書

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みください。

なお、取扱説明書の内容は予告なく更新させていただくことがあります。最新版はWEB版をご参照ください。

|                          |    |                               |    |
|--------------------------|----|-------------------------------|----|
| ■各部の名称.....              | 2  | ■0(ゼロ)セットの設定.....             | 38 |
| ■仕様.....                 | 3  | ■高切れ補正方法.....                 | 39 |
| ■使用方法・リールの準備 .....       | 4  | ■船ベリアラーム .....                | 40 |
| ■糸巻き学習方法 .....           | 5  | ■巻上げスピード表示/ フォールスピード表示機能..... | 41 |
| ■糸巻き学習方法【E1】 .....       | 7  | ■巻上距離アラーム設定方法 .....           | 42 |
| ■糸巻き学習方法【E2】 .....       | 10 | ■LED バックライト設定 .....           | 44 |
| ■糸巻き学習方法【E2(下巻き済)】 ..... | 14 | ■フォールレバー操作方法 .....            | 46 |
| ■糸巻き学習方法【L1】 .....       | 18 | ■フォールレバー設定方法 .....            | 47 |
| ■糸巻き学習方法【L2】 .....       | 22 | ■電池の交換方法.....                 | 50 |
| ■糸巻き学習方法【L2(下巻き済)】 ..... | 28 | ■お手入れ方法.....                  | 52 |
| ■指定糸学習ご使用方法.....         | 32 | ■サービス.....                    | 54 |
| ■糸巻き学習方法 P1 .....        | 34 | ■故障かな?と思われたときは .....          | 55 |

# ■各部の名称

※当ページ、および以後のページのイラストは実際のものとは異なる場合がございます。

## デジタルカウンターについて



### 1. 現在の水深

水深表示画面では、水面からの水深を表示します。

※水深は10cm単位です。

(100m以上は下図のように1m単位になります。)

99.9 → 100

### 2. 巻き上げ／フォール速度表示

※41ページを参照してください。

- ゼロセット ..... 38ページ
- 高切れ補正 ..... 39ページ
- 巻上距離アラーム ..... 42ページ
- LEDバックライト設定 ..... 44ページ

### 3. 電源ON／OFF

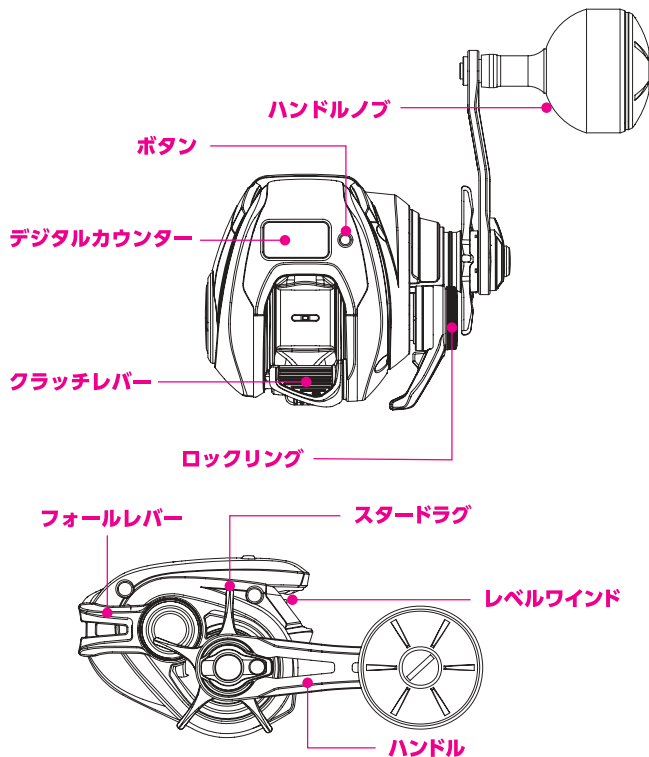
ON：ボタンを1度押す。

OFF：ボタンを6秒間長押し。

### 自動節電機能について

電源ON時、約60分間以上無操作（スプール回転無し）の状態がずっとと節電のため、自動的に電源OFFとなります。

※電池の交換時期の確認方法は50ページを参照してください。



| 品番    | ギア比 | 最大ドラグ力<br>(kg) | 自重<br>(g) | 糸巻量<br>PE<br>(号-m)          | 最大巻上長<br>(cm/ハンドル<br>1回転) | ハンドル長<br>(mm) | ベアリング数<br>(S A-RB/<br>ローラー) |
|-------|-----|----------------|-----------|-----------------------------|---------------------------|---------------|-----------------------------|
| 150XG | 8.1 | 5.0            | 240       | 0.8-400<br>1-330<br>1.5-200 | 81                        | 60            | 8/2                         |
| 151XG | 8.1 | 5.0            | 240       | 0.8-400<br>1-330<br>1.5-200 | 81                        | 60            | 8/2                         |

## ■ご注意：

- PEライン1号等の細いラインを使用した際、糸の巻き過ぎ、片寄り、バックラッシュ等が発生しますとスプールとフレームのすき間に糸が入り込んでしまう場合がありますのでご注意ください。
- PE専用スプールとなっておりますので、ナイロン等他の糸のご使用は避けください。ナイロンラインを下巻きにご使用になる場合は、3号以上の太さをラインテンション300g以下を目安に巻いてください。細いナイロンラインを高テンションで巻いた場合はスプールが変形する恐れがあります。
- スプール糸巻部の溝は、それぞれ1/3、2/3を表しています。

※詳細はシマノホームページでご確認ください。

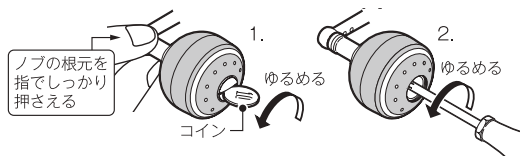
- 糸巻量は参考値です。糸巻時のラインテンションや糸の直径など、様々な要因によって、実際に巻ける量が前後する可能性があります。糸巻時の推奨ラインテンションは、二次元コードからご確認ください。



# ■使用方法・リールの準備

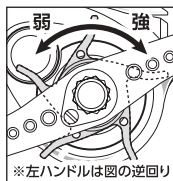
## ■ハンドルノブの取り外し方

1. ノブの根元を手で押さえながら、コインでハンドルノブキャップをゆるめて取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



## ■スタードラッグ

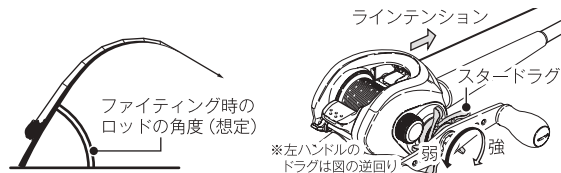
ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラッグが締まります。



## ■ドラッグの調整方法

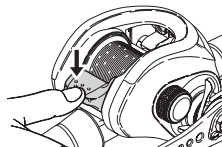
ドラッグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラッグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. クラッチを“ON”の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタードラッグの締め付けを調整してください。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出してください。



## ■クラッチ操作方法

親指でクラッチレバーを下に押すとクラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。カチッと音がするまで確実にクラッチレバーを押してクラッチを切ってください。



## ■エキサイティングドラッグサウンドについて

エキサイティングドラッグサウンドのドラッグ音は、低ドラッグ値に設定すると音が小さくなりますが、構造上必然的な現象であり故障ではございません。

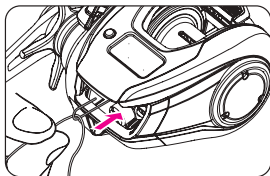
# ■糸巻き学習方法（使用するラインの長さをリールに記憶させます。）

**最初に糸を巻く時や糸を巻きかえる際は、必ず下記の操作を行ってください。**

このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をデジタルカウンターに記憶させ、この関係を用いて水深を表示させます。操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

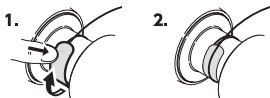
## ■レベルwindに糸を通す

付属の糸通しピンで、図のように糸をレベルwindに通します。



## ■スプールへの糸止め方法（糸を巻く時）

1. スプールにラインを結び、その結び目の上に市販のテープ等をピッタリと確実に貼ります。（指などで強く押しってください。）
2. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。（最初は少しゆっくりと巻くようにします。）
3. 特に PE ラインは滑り易く、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンション（500g 程度）をかけてきっちりと巻くことが必要です。



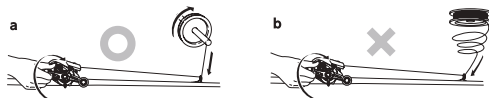
## ■スプールに糸を巻くときの注意点

PE ラインを巻く際には、必ず滑り止めになる物をスプールに巻いてからご使用ください。そのまま巻きますと、スプールに巻いた糸が空転し、糸が巻き取れなくなる可能性があります。

## ●糸の巻き方の例

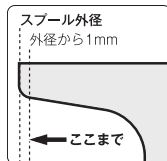
糸巻き学習モードを選択して、学習手順に沿って行ってください。  
6 ページを参照してください。

1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにしてください。（図 a）  
図 b のようなにならないようご注意ください。



## ●推奨糸巻量

糸巻量はスプール外径から 1mm の位置まで巻くことをおすすめします。



次ページにつづく

## ■糸巻き学習モード選択

糸巻き学習モードにて、ボタンをクリックすると、画面表示 E1 → E2 → L1 → L2 → P1、PE0.6 → PE0.8 → PE1.0 → PE1.2 → PE1.5 の順に変わります。  
表を参照に、糸巻き学習モードを選択してください。

|                                    | 下巻きをしない場合   | 下巻きをする場合    | 下巻きをする場合<br>(ラインを巻き替える場合) |
|------------------------------------|-------------|-------------|---------------------------|
| これから巻き取る<br>ラインの距離が<br>正確に分かる場合    | E1 … 7ページへ  | E2 … 10ページへ | E2 … 14ページへ               |
| これから巻き取る<br>ラインの距離が<br>正確には分からない場合 | L1 … 18ページへ | L2 … 22ページへ | L2 … 28ページへ               |

指定糸学習をご使用時、0.6 号、0.8 号、1.0 号、1.2 号、1.5 号いずれかの PE ラインをスプール外径から 1mm の位置を目安に巻いて簡易的に使用する場合、もしくはすでにこれらの糸を巻いてしまった場合。

PE0.6、PE0.8、PE1.0、PE1.2、PE1.5・・・32 ページへ

\* P1 モード は、釣りをしている際、「実際に糸が出た距離」と「カウンターの水深表示」に誤差が生じた場合の補正学習機能です。補正方法の仕方は 34 ページを参照してください。

\* ラインが高切れした際の補正方法は、39 ページを参照してください。

## ■糸巻き学習方法（使用するラインの長さをリールに記憶させます。） E1

### 「下巻きをしない」かつ 「これから巻き取るラインの長さが正確に分かる場合」 の学習方法 [E1]



- ① 電源ONを確認してください。  
液晶画面が点灯していない場合はボタン  
を押して電源をONにしてください。



- ② ボタンを9秒以上押してください。  
6秒で表示が一旦消えますが、  
そのまま押し続けてください。  
「SEt」が表示されたらボタンを離してください。

※電池の残量が少ない場合、  
「Er.1」が表示されます。新しい電池と  
交換してください。

Er.1



- ③ クリックして「Std」を表示  
させてください。  
「Std」が表示されたら、3秒長押し  
してください。

※糸巻き学習をせずに、水深表示画面  
に戻りたいときは、ハンドルを回転  
させてください。「ピピピ」という音が  
鳴り、水深表示画面に戻ります。

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻いた場合と同じ数字を示すわけではありません。

次ページにつづく



- ④ クリックして[E1]を表示させてください。  
[E1]が表示されたら、3秒長押ししてください。

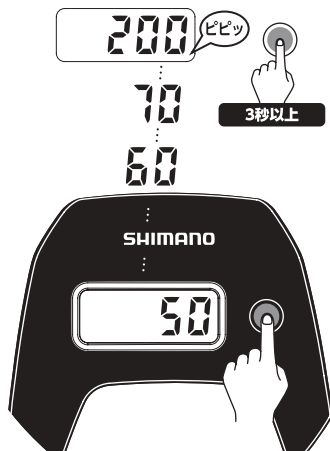


- ⑤ ハンドルで糸を巻いてください。  
※カウンターの数字はスプールの回転数に比例した数字です。実際に釣りをする時と同じくらいのテンション(500g程度)で糸を巻いてください。



- ⑥ 糸を巻き終えたらボタンを3秒以上押してください。

注意：糸を巻き終えたら、スプールを回転させないようにご注意ください。  
水深表示誤差の原因となります。



- ⑦ 実際に糸巻きた量と、カウンター表示が同じになるまで、ボタンを繰り返し押してください。同じになりましたら、「ピピッ」というまで3秒以上長押ししてください。

※初期設定は50mです。

(図は50mから200mに変更した場合です。)

※ボタンを押すと10m単位で900まで数値が上がり、900を超えると50へ戻ります。

※カウンター表示を50に戻したいときは、ハンドルを回転させてください。



- ⑧ 表示は水深表示画面に戻り、学習は完了です。

(カウンターの数値と実際の糸の出した長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)

※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

※糸巻き学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。

Er.2

## ■糸巻き学習方法（使用するラインの長さをリールに記憶させます。） E2

### 「下巻きをする」かつ 「これから巻き取るラインの長さが正確に分かる場合」 の学習方法 [E2]



- ① 電源ONを確認してください。  
液晶画面が点灯していない場合はボタンを押して電源をONにしてください。



- ② ボタンを9秒以上押してください。  
6秒で表示が一旦消えますが、そのまま押し続けてください。  
「SEt」が表示されたらボタンを離してください。

※電池の残量が少ない場合、  
「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

Er.1



- ③ クリックして「Std」を表示させてください。  
「Std」が表示されたら、3秒長押ししてください。

※糸巻き学習をせずに、水深表示画面に戻りたいときは、ハンドルを回転させてください。「ピピピ」という音が鳴り、水深表示画面に戻ります。



- ④ クリックして[E2]を表示させてください。  
[E2]が表示されたら、3秒長押ししてください。

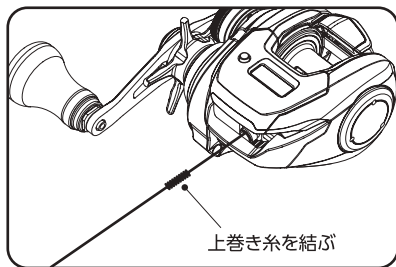


- ⑤ ハンドルで下巻き糸を巻いてください。  
※カウンターの数字はスプールの回転数に比例した数字です。実際に釣りをする時と同じくらいのテンション(500g程度)で糸を巻いてください。



- ⑥ 下巻き糸を巻き終えたらボタンを3秒以上押してください。

注意：下巻き糸を巻き終えたら、スプールを回転させないようにご注意ください。  
水深表示誤差の原因となります。



- ⑦ 巻き取った下巻き糸の先に上巻き糸を結びつけ正確に10m巻いてください。

※スプールの回転数に応じて表示が変化します。

#### 10m巻き取りのご注意

表示中の数字「10」=10mではありません。

- ラインにマーカー表示がある場合は、マーカーを見て10mの計測が必要です。
- ラインにマーカー表示がない場合は、メジャーなどで10mの計測が必要です。



- ⑧ 上巻き糸を10m分巻き終えたらボタンを3秒以上押してください。



- ⑨ 残りの上巻き糸を巻いてください。



- ⑩ 糸を巻き終えたらボタンを3秒以上押してください。

注意：糸を巻き終えたら、スプールを回転させないようにご注意ください。  
水深表示誤差の原因となります。



- ⑪ 実際に糸巻きした量と、カウンター表示が同じになるまで、ボタンを繰り返し押してください。同じになりましたら、「ビビッ」というまで3秒以上長押ししてください。

※初期設定は50mです。

(図は50mから200mに変更した場合です。)

※ボタンを押すと10m単位で990まで

数値が上がり、990を超えると50へ戻ります。

※カウンター表示を50に戻したいときは、ハンドルを回転させてください。



- ⑫ 表示は水深表示画面に戻り、学習は完了です。

(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)

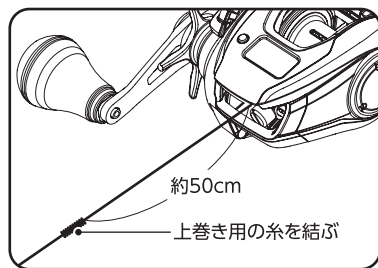
※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

※糸巻き学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。

Er.2

## ■糸巻き学習方法 (使用するラインの長さをリールに記憶させます。) E2(下巻き済)

「下巻きを完了している場合(ラインを巻き替える場合)」かつ  
「これから巻き取るラインの距離が正確に分かる場合」の  
学習方法【E2(下巻き済)】



- ① 巻き終えた下巻き糸に、上巻き用の糸を結びます。

※下巻き糸に上巻き用の糸を結ぶ際、下巻き糸をレベルウィンドの穴に通し、下巻き糸を約50cm糸を引き出して上巻き用の糸を結んでください。

下巻き糸を約50cm出した状態で、糸巻き学習を始めてください。



- ② 電源ONを確認してください。  
液晶画面が点灯していると、電源ONの状態です。  
点灯していない場合はON/OFFボタンを押して電源をONIにしてください。



- ③ P10, 11を参考に、E2を表示させてください。  
「E2」が表示されたら、3秒長押ししてください。

※電池の残量が少ない場合、「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

Er.1



- ④ ハンドルで糸を巻いてください。  
上図のようにハンドルで結び目まで巻き取ります。



- ⑤ ON/OFFボタンを3秒以上押してください。
- ⑥ 上巻き糸を正確に10m分巻き取ります。  
※スプールの回転数に応じて表示が変化します。

#### 10m巻き取りのご注意

表示中の数字「10」=10mではありません。

■ラインにマーカ表示がある場合は、マーカを見て10mの計測が必要です。

■ラインにマーカ表示がない場合は、メジャーなどで10mの計測が必要です。



- ⑦ 上巻き糸を10m分巻き終えたらON/OFFボタンを3秒以上押してください。



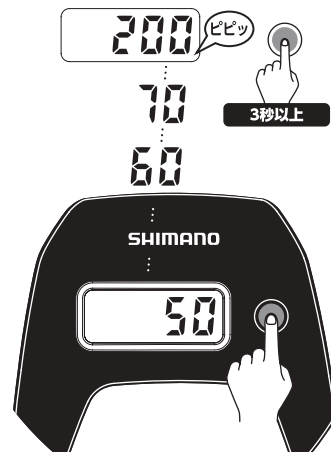
⑧ 残りの上巻き糸を巻いてください。

※カウンターの数字はスプールの回転数に比例した数字です。実際に釣りをする時と同じくらいのテンション(500g程度)で糸を巻いてください。



⑨ 糸を巻き終えたらON/OFFボタンを3秒以上押してください。

注意：糸を巻き終えたら、スプールを回転させないようにご注意ください。  
水深表示誤差の原因となります。



⑩ 実際に糸巻きした量と、カウンター表示が同じになるまで、ボタンを繰り返し押ししてください。

同じになりましたら、「ピッ」というまで3秒以上長押ししてください。

※初期設定は50mです。(図は50mから200mに変更した場合です。)

※ボタンを押すと10m単位で990まで数値が上がリ、990を超えると50へ戻ります。

☆「上巻き10m分」+「残りの上巻き分」を合わせた距離を入力してください。

※糸巻き学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。

Er.2



⑪ **表示は水深表示画面に戻り、  
学習は完了です。**

(カウンターの数値と実際の糸の  
出た長さとは最大で±3%の  
誤差が生じる場合があります。)

※誤差とは学習後最初の1投目の  
誤差です。

# ■糸巻き学習方法（使用するラインの長さをリールに記憶させます。） L1

## 「下巻きをしない」かつ 「これから巻き取るラインの長さが正確に分からない場合」 の学習方法 [L1]



- ① 電源ONを確認してください。  
液晶画面が点灯していない場合はボタンを押して電源をONにしてください。



- ② ボタンを9秒以上押してください。  
6秒で表示が一旦消えますが、そのまま押し続けてください。  
「SEt」が表示されたらボタンを離してください。

※電池の残量が少ない場合、  
「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

Er.1



- ③ クリックして「Std」を表示させてください。  
「Std」が表示されたら、3秒長押ししてください。

※糸巻き学習をせずに、水深表示画面に戻りたいときは、ハンドルを回転させてください。「ピピピ」という音が鳴り、水深表示画面に戻ります。



- ④ クリックして[L1]を表示させてください。  
[L1]が表示されたら、3秒長押ししてください。

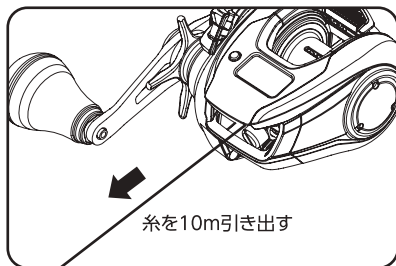


- ⑤ ハンドルで糸を巻いてください。  
※カウンターの数字はスプールの回転数に比例した数字です。実際に釣りをする時と同じくらいのテンション(500g程度)で糸を巻いてください。



- ⑥ 糸を巻き終わったらボタンを3秒以上押してください。

注意：糸を巻き終わったら、スプールを回転させないようにご注意ください。  
水深表示誤差の原因となります。



⑦ 糸を正確に10m引き出してください。

※スプールの回転数に応じて表示が変化します。

**10m引き出しのご注意**

表示中の数字「10」=10mではありません。

■ラインにマーカー表示がある場合は、マーカーを見て10mの計測が必要です。

■ラインにマーカー表示がない場合は、メジャーなどで10mの計測が必要です。



⑧ 学習を終了するため、ボタンを3秒以上押してください。

※糸巻き学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。

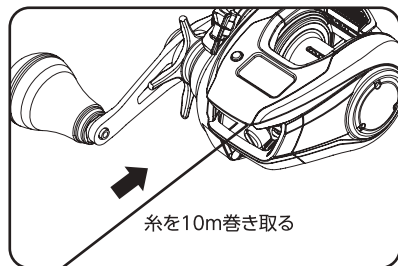
Er.2



⑨ 表示は水深表示画面に戻り、学習は完了です。

(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)

※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。



- ⑩ 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

## ■糸巻き学習方法（使用するラインの長さをリールに記憶させます。） L2

### 「下巻きをする」かつ 「これから巻き取るラインの長さが正確に分からない場合」 の学習方法 [L2]



- ① 電源ONを確認してください。  
液晶画面が点灯していない場合はボタンを押して電源をONにしてください。



- ② ボタンを9秒以上押してください。  
6秒で表示が一旦消えますが、そのまま押し続けてください。  
「SEt」が表示されたらボタンを離してください。

※電池の残量が少ない場合、  
「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

Er.1



- ③ クリックして「Std」を表示させてください。  
「Std」が表示されたら、3秒長押ししてください。

※糸巻き学習をせずに、水深表示画面に戻りたいときは、ハンドルを回転させてください。「ピピピ」という音が鳴り、水深表示画面に戻ります。



- ④ クリックして[L2]を表示  
させてください。  
[L2]が表示されたら、3秒長押し  
してください。

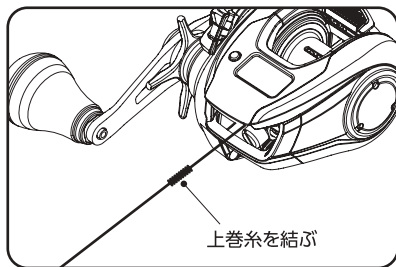


- ⑤ ハンドルで下巻き糸を巻いてください。  
※カウンターの数字はスプールの回転数  
に比例した数字です。実際に釣りをする  
時と同じくらいのテンション(500g程度)  
で糸を巻いてください。



- ⑥ 下巻き糸を巻き終えたらボタン  
を3秒以上押してください。

注意：下巻き糸を巻き終えたら、  
スプールを回転させないようにご  
注意ください。  
水深表示誤差の原因となります。



- ⑦ 巻き取った下巻糸の先に上巻糸を結びつけ正確に10m巻いてください。

※スプールの回転数に応じて表示が変化します。

#### 10m巻き取りのご注意

表示中の数字「10」=10mではありません。

- ラインにマーカース表示がある場合は、マーカースを見て10mの計測が必要です。
- ラインにマーカース表示がない場合は、メジャーなどで10mの計測が必要です。



- ⑧ 上巻糸を10m分巻き終えたらボタンを3秒以上押してください。

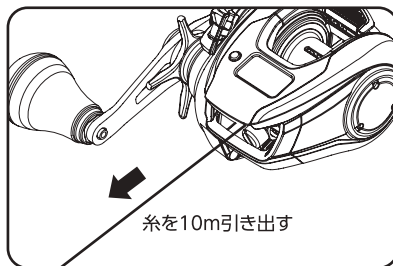


- ⑨ 残りの上巻糸を巻いてください。



- ⑩ 糸を巻き終えたらボタンを3秒以上押してください。

注意：糸を巻き終えたら、スプールを回転させないようにご注意ください。  
水深表示誤差の原因となります。



- ⑪ 糸を正確に10m引き出してください。  
※スプールの回転数に応じて表示が変化します。

#### 10m引き出しのご注意

表示中の数字「10」=10mではありません。

- ラインにマーカ表示がある場合は、マーカを見て10mの計測が必要です。
- ラインにマーカ表示がない場合は、メジャーなどで10mの計測が必要です。



- ⑫ 学習を終了するため、ボタンを3秒以上押してください。

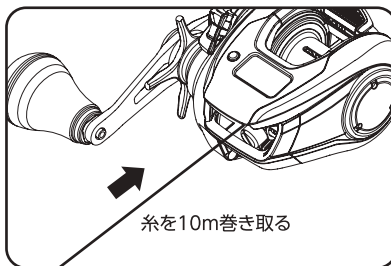
※糸巻き学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。

Er.2

次ページにつづく



- ⑬ 表示は水深表示画面に戻り、学習は完了です。  
 (カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)  
 ※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

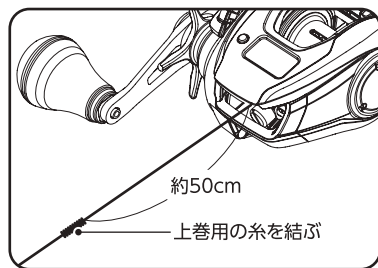


- ⑭ 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。



## ■糸巻き学習方法 (使用するラインの長さをリールに記憶させます。) L2(下巻き済)

「下巻きを完了している場合(ラインを巻き替える場合)」かつ  
「これから巻き取るラインの距離が正確に分からない場合」の  
学習方法 [L2(下巻き済)]



① 巻き終えた下巻き糸に、上巻き用の糸を結びます。

※下巻き糸に上巻き用の糸を結ぶ際、下巻き糸をレベルウィンドの穴に通し、下巻き糸を約50cm糸を引き出して上巻き用の糸を結んでください。

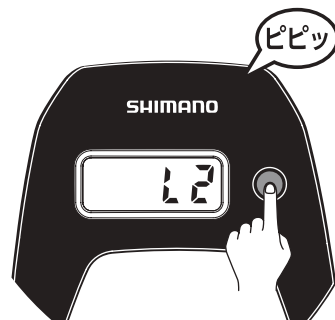
下巻き糸を約50cm出した状態で、糸巻き学習を始めてください。



② 電源ONを確認してください。

液晶画面が点灯していると、電源ONの状態です。

点灯していない場合はON/OFFボタンを押して電源をONIにしてください。

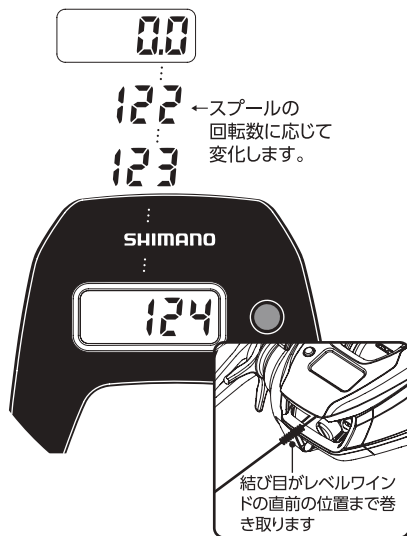


③ P22, 23を参考に、L2を表示させてください。

「L2」が表示されたら、3秒長押ししてください。

※電池の残量が少ない場合、「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

Er.1



- ④ ハンドルで糸を巻いてください。  
巻き始めると「ピピッ」と鳴ります。上図の  
ようにハンドルで結び目まで巻き取ります。



#### 10m巻き取りのご注意

表示中の数字「10」=10mではありません。

■ラインにマーカース表示がある場合は、マーカースを見て10mの計測が必要です。

■ラインにマーカース表示がない場合は、メジャーなどで10mの計測が必要です。



次ページにつづく



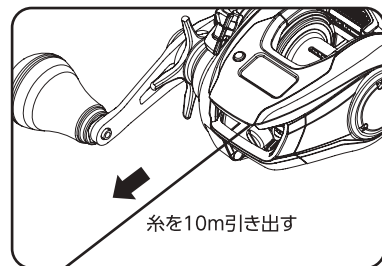
**⑧ 残りの上巻き糸を巻いてください。**

※カウンターの数字はスプールの回転数に比例した数字です。実際に釣りをする時と同じくらいのテンション(500g程度)で糸を巻いてください。



**⑨ 糸を巻き終えたらON/OFFボタンを3秒以上押してください。**

**注意：**糸を巻き終えたら、スプールを回転させないようにご注意ください。水深表示誤差の原因となります。



**⑩ 糸を正確に10m引き出してください。**

※スプールの回転数に応じて表示が変化します。

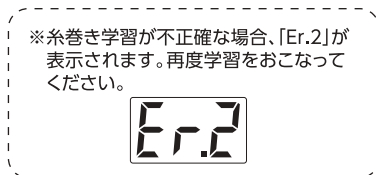
**10m引き出しのご注意**

表示中の数字「10」=10mではありません。

- ラインにマーカ表示がある場合は、マーカを見て10mの計測が必要です。
- ラインにマーカ表示がない場合は、メジャーなどで10mの計測が必要です。



- ⑪ 学習を終了するため、ON/OFFボタンを3秒以上押してください。



- ⑫ 表示は水深表示画面に戻ります。

- ⑬ 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。これで学習は完了です。

## ■指定糸学習ご使用方法

指定糸学習はスプール外径から1mmの位置まで下巻ラインを含めて指定糸を巻いた時の標準的な学習値になります。お客様の実際に巻かれた糸の種類や、ラインテンション、糸巻き後のスプール外径によって精度が下がります。より精度を求める場合はE1, E2, L1, L2 モードにて学習ください。



- ① 電源ONを確認してください。  
液晶画面が点灯していない場合はボタンを押して電源をONにしてください。



- ② ボタンを9秒以上押してください。  
6秒で表示が一旦消えますが、そのまま押し続けてください。  
「SEt」が表示されたらボタンを離してください。

※電池の残量が少ない場合、「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

Er.1



- ③ クリックして「Std」を表示させてください。  
「Std」が表示されたら、3秒長押ししてください。

※糸巻き学習をせずに、水深表示画面に戻りたいときは、ハンドルを回転させてください。「ピピピ」という音が鳴り、水深表示画面に戻ります。



- ④ ご使用するPEラインの号数が表示されるまでクリックしてください。表紙されたら3秒長押ししてください。  
※PE0.8号をご使用する場合はPE0.8を選択ください。



- ⑤ 表示は水深表示画面に戻り、指定糸学習データの呼び出しが完了です。

## ■糸巻き学習方法 (補正学習) P1

### 釣りをしていて「実際に糸が出た長さ」と 「カウンターの水深表示」に誤差が 生じた場合の補正学習(P1)

\*ラインが高切れした際の補正方法は、  
39 ページを参照してください。



- ① 電源ONを確認してください。  
液晶画面が点灯していない場合はボタン  
を押して電源をONにしてください。



- ② ボタンを9秒以上押してください。  
6秒で表示が一旦消えますが、  
そのまま押し続けてください。  
「SEt」が表示されたらボタンを離してください。

※電池の残量が少ない場合、  
「Er.1」が表示されます。新しい電池と  
交換してください。

Er.1



- ③ クリックして「Std」を表示  
させてください。  
「Std」が表示されたら、3秒長押し  
してください。

※糸巻き学習をせずに、水深表示画面  
に戻りたいときは、ハンドルを回転  
させてください。「ピピピ」という音が  
鳴り、水深表示画面に戻ります。



- ④ クリックして[P1]を表示させてください。  
「P1」が表示されたら、3秒長押ししてください。



- ⑤ 糸を正確に10m引き出してください。

#### 10m引き出しのご注意

表示中の数字「10」=10mではありません。

- ラインにマーカ表示がある場合は、マーカを見て10mの計測が必要です。
- ラインにマーカ表示がない場合は、メジャーなどで10mの計測が必要です。

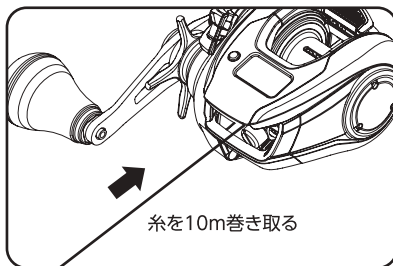


- ⑥ 糸を10m引き出し終えたらボタンを3秒以上押してください。

※糸巻き学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。

Er.2

次ページにつづく



- ⑦ 表示は水深表示画面に戻り、学習は完了です。  
(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)  
※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

- ⑧ 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

**【補正学習(P1)を行う際の注意点】**

※補正学習(P1)のみの操作では、糸巻き学習は行えません。糸巻き学習を行う際はE1、E2、L1、L2のいずれかのモードを使用してください。

指定糸学習をお使いの場合も補正学習(P1)はお使いいただけません。

釣り場および釣り前など、カウンター誤差を補正したい場合にのみ、補正学習(P1)を行ってください。

※必ず、表示「0.0」に合わせたい位置まで糸を巻き取ってから補正学習(P1)を行ってください。

糸を巻き取らずに補正学習(P1)を行った場合、水深表示誤差が生じる恐れがあります。

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻いた場合に同じ数字を示すわけではありません。



## ■0(ゼロ)セットの設定 (釣りを始める前に必ず行なってください。)

### 正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには、正確な棚取りが不可欠です。

そこで「0セット」を設定します。

「0セット」とは、シカケが水面にある時を0mとして設定することです。

「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、

正確な棚取りを可能にします。

※水深表示が10.1m 以上で0セットをすると、高切れ補正となります。

※ラインが高切れした際の補正方法は、39ページを参照してください。



- ① シカケを水面に合わせ、  
ボタンを3秒以上押して  
ください。



- ② 「ピピッ」のアラームが鳴りましたら  
ボタンを離してください。  
上図のように表示が変わります。  
これで0セットは完了です。

## ■高切れ補正方法

高切れした場合も、簡単操作で補正が可能です。

ラインブレイクした場合、スプールに残っているライン残量とカウンター表示にズレが生じます。  
そのような場合は、下記の手順で、カウンター表示の補正ができます。  
また、高切れ補正は、カウンター水深表示が10.1m以上で0セットすることで、行えます。



- ① シカケを水面に合わせ、  
ボタンを3秒以上押して  
ください。



- ② 「ピピッ」のアラームが鳴りましたら  
ボタンを離してください。  
上図のように表示が変わります。  
これで0セットは完了です。

# ■船ベリアラーム

## 船べり停止位置が自動的にセットされ、アラームでお知らせします。

※電源を入れ初回の投入時のみ10mで船べりアラームが設定されています。2回目以降はデジタルカウンターが自動的に判断して、前回のシカケ投入の位置に自動設定します。(この機能は1m～6mの範囲で作動します。)

**1** 記憶した船べり停止位置よりも4m手前から2mおきに「ビッ」のアラームが鳴ります。

**2** 3回目の「ピピッ」のアラームで巻き上げを停止して、竿を立てるとシカケが手元に戻ります。



**ご注意：**電池が容量不足の状態でご使用を続けると、アラームが鳴らなくなります。穂先の巻き込みを防止する為にも、釣行前に電池残量をご確認ください。  
(予備の電池の用意をお薦めします。)

## ■巻上げスピード表示／フォールスピード表示機能

カウンター左端に、巻上げスピードおよびフォールスピードを表示させる機能です。  
速度を視覚的に把握でき、攻めの釣りを展開できます。

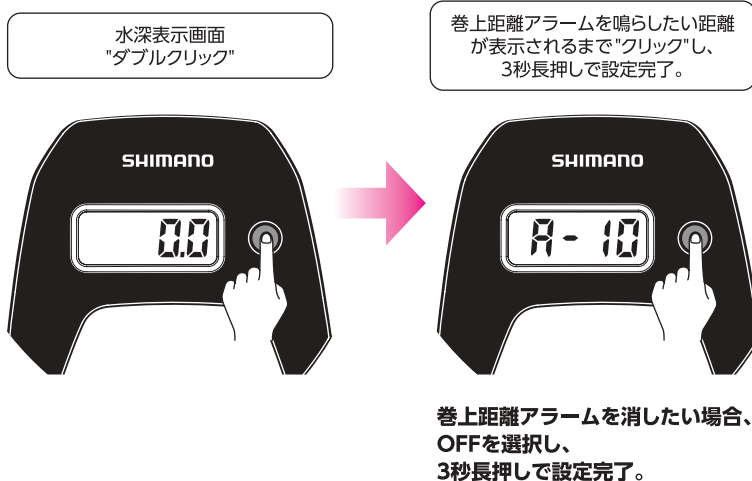


巻上げ速度表示の数値は、  
下記ようになります。

| 表示 | 巻上げ／フォール速度 (cm/秒) |
|----|-------------------|
| 0  | 0～20              |
| 1  | 20～40             |
| 2  | 40～60             |
| 3  | 60～80             |
| 4  | 80～100            |
| 5  | 100～120           |
| 6  | 120～140           |
| 7  | 140～160           |
| 8  | 160～180           |
| 9  | 180～220           |
| H  | 220～              |

# ■巻上距離アラーム設定方法

巻上距離アラームは、仕掛けを落下後、巻き始めてから設定した距離毎にアラームが鳴る機能です。  
底から5m、10mなど、船長の指示棚などを目安に設定することで、何m巻いたかを音で知らせる機能です。  
設定した距離毎に3回まで繰り返し音が鳴ります。



巻上距離アラームは下記の中から選択可能です。

| 表 示  |                             |
|------|-----------------------------|
| A-5  | 5m、10m、15m 巻上げたところで音が鳴ります。  |
| A-10 | 10m、20m、30m 巻上げたところで音が鳴ります。 |
| A-15 | 15m、30m、45m 巻上げたところで音が鳴ります。 |
| A-20 | 20m、40m、60m 巻上げたところで音が鳴ります。 |
| A-25 | 25m、50m、75m 巻上げたところで音が鳴ります。 |
| OFF  | 音が鳴りません。 ※出荷状態ではOFFになっています。 |

※水深が10m以内になった場合は、設定距離巻いても音は鳴りません。  
(船べりアラームが鳴ります)

※魚にドラッグを引き出された場合は、3回以上音が鳴る場合があります。

※ハンドル1回転もしくは10秒経過すると元の水深表示画面に戻ります。

42 ※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻いた場合と同じ数字を示すわけではありません。



## ■LEDバックライト設定



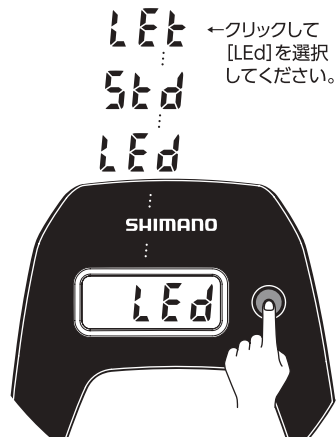
- ① 電源ONを確認してください。  
液晶画面が点灯していない場合はボタンを押して電源をONにしてください。



- ② ボタンを9秒以上押してください。  
6秒で表示が一旦消えますが、そのまま押し続けてください。  
「SEt」が表示されたらボタンを離してください。

※電池の残量が少ない場合、  
「Er.1」が表示されます。新しい電池と交換してください。

Er.1



- ③ クリックして「LEd」を表示させてください。  
「LEd」が表示されたら、3秒長押ししてください。



- ④ クリックしてLEDバックライトを4つのモードから選択してください。

- On1** : 5秒間点灯 (ボタンひと押し)
- On2** : スプール回転時点灯
- On3** : 常時点灯
- OFF** : バックライトOFF



- ⑤ 【LEDバックライトをONにする場合】

**On1** または **On2** または **On3** が表示されている状態で、「ピピッ」というまでボタンを3秒以上、長押ししてください。

【LEDバックライトをOFFにする場合】

**OFF** が表示されている状態で、「ピピッ」というまでボタンを3秒以上、長押ししてください。

※ **On3** :

常時点灯モードにて、3分間、スプール回転およびボタン操作がない場合、節電のためバックライトは消灯します。ボタンを押すと再度点灯します。

※いずれのモードにおいても、ブザーが鳴る瞬間はLEDが自動的に消灯します。

## ■フォールレバー操作方法

フォールレバーとは、レバーでメカニカルブレーキをかける機構です。  
レバー操作で仕掛けのフォールスピードをコントロールすることで、誘いの幅が広がります。

### 《操作方法》

■フォールスピードを遅くしたい(ブレーキ力を強めたい)場合。

ハンドル回転方向に、レバーを回転させます。

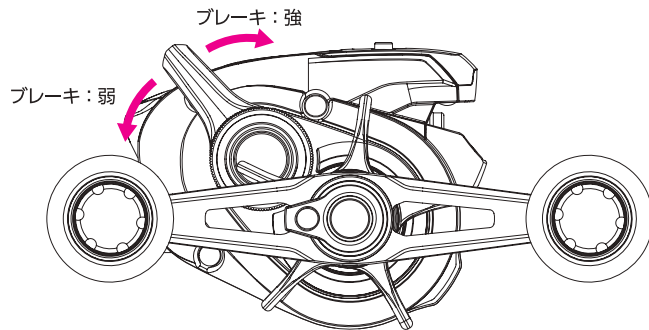
■フォールスピードを速くしたい(ブレーキ力を弱めたい)場合。

手前方向に、レバーを回転させます。

※フォールスピードを調整するものであり、

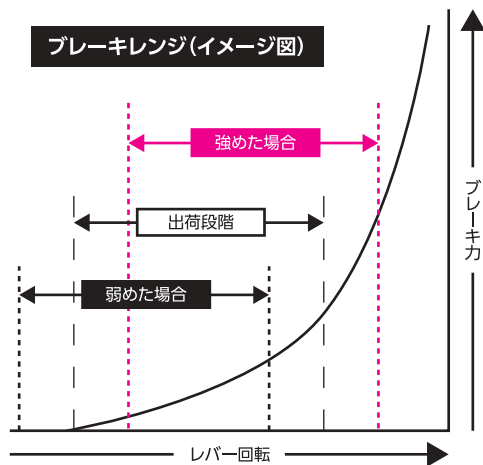
ドラッグ力を調整するものではありません。

※保管時には、ブレーキを弱めておいてください。

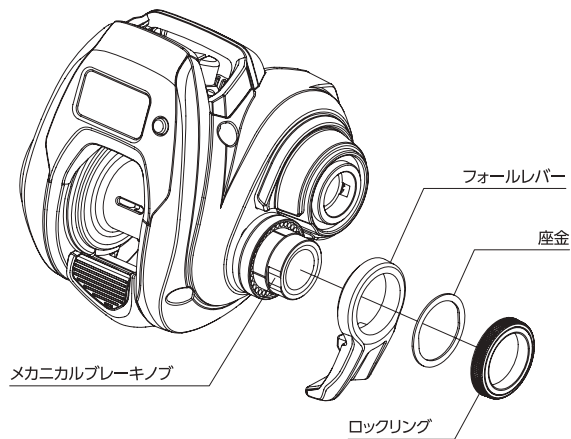


## ■フォールレバー設定方法（応用編：ブレーキレンジの設定）

レバー操作域でのブレーキレンジを、強めたり、弱めたりできます。



まず初めに、下記の構造をご確認ください。  
フォールレバーは、レバーでメカニカルブレーキノブを回転させる機構です。  
固定パーツとロックリングで、レバーをメカニカルブレーキノブに固定しています。  
※ロックリングはメカニカルブレーキノブではありません。  
ロックリングを締めたり緩めたりしても、メカニカルブレーキ力は変わりません。

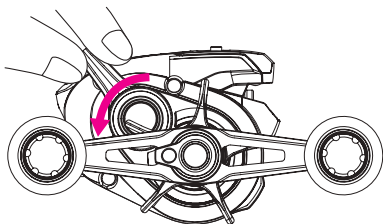


## ■フォールレバー設定方法（応用編：ブレーキレンジを強めたい場合）

※右ハンドルモデルを例に説明しております。

※まず初めに47ページをご確認ください。

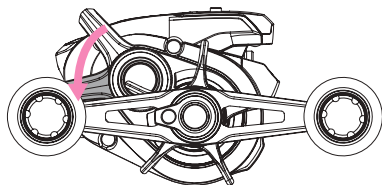
※ブレーキレンジを強く設定すると、レバーを最下部に回転させた際にも、ブレーキが掛かります。



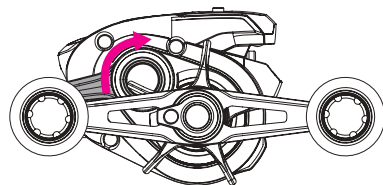
- ① レバーを支えながら、ロックリングを、ハンドル回転と逆方向に回転させ緩めます。

※フォールレバーをメカニカルブレーキノブからスライドできる状態になります。

※ロックリングの緩めすぎは、脱落到ち繋がりますのでご注意ください。



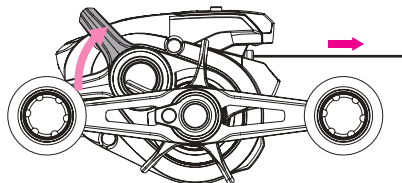
- ② レバーを下部にスライドします。  
スライド量が大きいほど、  
ブレーキレンジは強まります。



- ③ ロックリングをハンドル回転方向に回転させしっかり締めこみます。

※レバーのガタツキがないことをご確認ください。

※ロックリングの締め込みが不十分だと、脱落到ち繋がりますのでご注意ください。



- ④ クラッチを切ります。レバーを回転させながら糸を引き出して、ブレーキカーブを確認してください。

※ブレーキレンジをさらに強めたい場合は、当ページ①～④を再度行ってください。

※ブレーキレンジを弱めたい場合は、49ページを参照してください。

※最大ブレーキ力の目安は、使用する仕掛け（タイラバ・ジグなど）の重さの1/3です。

例）60gのタイラバなら、20gのブレーキ力（約単3の乾電池1本分）

※強く締めこみすぎると破損の恐れがございますのでご注意ください。

竿にリールを取り付け、水平状態で120gの重りをぶらさげて、

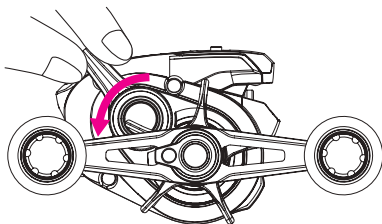
落下しないようならば、締めすぎです。

# ■フォールレバー設定方法（応用編：ブレーキレンジを弱めたい場合）

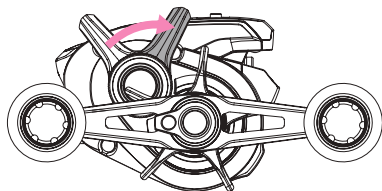
※右ハンドルモデルを例に説明しております。

※まず初めに47ページをご確認ください。

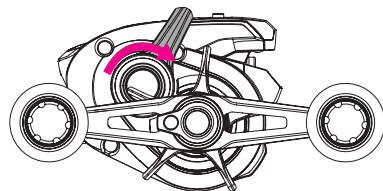
※ブレーキレンジを強く設定すると、レバーを最下部に回転させた際にも、ブレーキが掛かります。



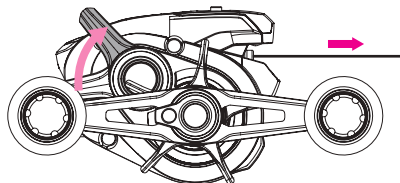
- ① レバーを支えながら、ロックリングを、ハンドル回転と逆方向に回転させ緩めます。  
※フォールレバーをメカニカルブレーキノブからスライドできる状態になります。  
※ロックリングの緩めすぎは、脱落到ち繋がりますのでご注意ください。



- ② レバーを上部にスライドします。  
スライド量が大いほど、ブレーキレンジは弱まります。



- ③ ロックリングをハンドル回転方向に回転させしっかり締めこみます。  
※レバーのガタツキがないことをご確認ください。  
※ロックリングの締め込みが不十分だと、脱落到ち繋がりますのでご注意ください。



- ④ クラッチを切ります。レバーを回転させながら糸を引き出して、ブレーキカーブを確認してください。

※ブレーキレンジをさらに弱めたい場合は、当ページ①～④を再度行ってください。

※ブレーキレンジを強めたい場合は、48ページを参照してください。

※最大ブレーキ力の目安は、使用する仕掛け（タイラバ・ジグなど）の重さの1/3です。

例）60gのタイラバなら、20gのブレーキ力（約単3の乾電池1本分）

※強く締めこみすぎると破損の恐れがございますのでご注意ください。

竿にリールを取り付け、水平状態で120gの重りをぶらさげて、

落下しないようならば、締めすぎです。

# ■電池の交換方法 (右ハンドルモデルを例に説明しております。)

## 1 電池の交換時期

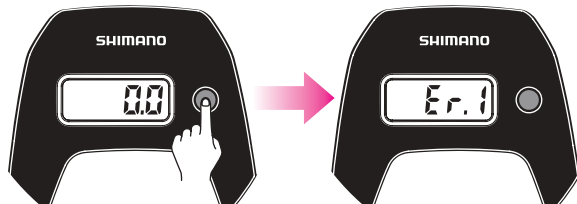
カウンターの表示が、うすくなって見えにくくなったリアラーム音が鳴らなくなりましたら、電池の交換時期です。あるいは、糸巻き学習時、または巻上距離アラーム設定画面移行時に、**[Er.1]**の表示が出ましたら、電池の残量低下を意味します。

CR2032ボタン電池を交換してください。

- ※CR2032は釣具店様や電器店様でご購入できます。
- ※電池寿命は通常の使用で3年程度です。ただし、LED/バックライトの設定で「常時点灯」で使用された場合は約8時間の釣行を2.5回程度です。
- ※また巻上げ距離アラームもバッテリーを消費します。
- ※低温環境下では常温よりも電池電圧が低下するため、早めに電池交換が必要になります。
- ※リールを使用していない状態でも、電池は微小な放電により消耗します。そのため、付属の電池は工場出荷から製品の使用開始時期によって、所定の電池寿命よりも使用できる時間が短くなることがあります。長期間使用しない場合は、電池を抜いておくことを推奨します。

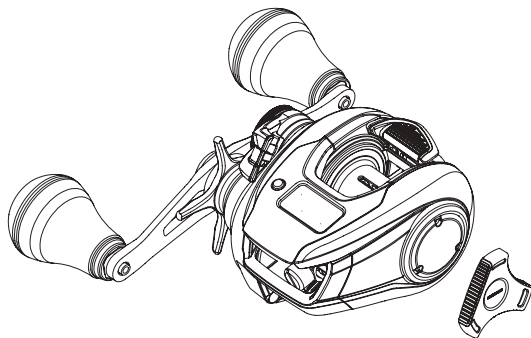
### 電池残量低下の確認方法

水深表示画面“ダブルクリック”



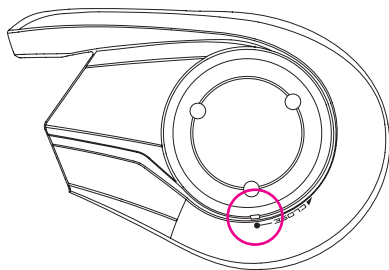
## 2 電池の交換方法

1. 付属のバッテリーキャップレンチをバッテリーキャップに差し込み、時計回りに回し、バッテリーキャップを取り外します。

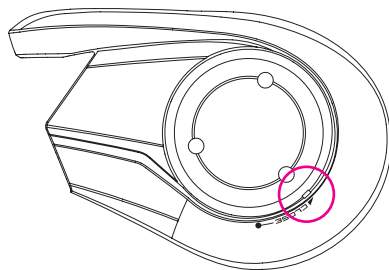


2. 古い電池を取り出し、新しい電池を入れます。  
(手前側がプラスになるように)

3. バッテリーキャップの目印と、ボディの目印を合わせて取り付けます。



4. バッテリーキャップの目印がCLOSEの▲の位置になるまで、押し込みながら反時計回りに回転させます。



(パッキンを使用した防水構造になっていますので、しっかりと押し込まないとキャップが入りにくくなっています。CLOSEの位置に回転させたあと、キャップが飛び出したり斜めに取りついていないことをご確認ください。)

#### 交換時の注意

- 湿度の高い場所での交換は避けてください。
- バッテリーキャップを長時間開けたままにしないでください。
- 電池の＋をまちがえないようにしてください。

5. 電源を"ON"にし、正しく電池が交換されているかを確認してください。

# ■お手入れ方法

特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをお勧めします。

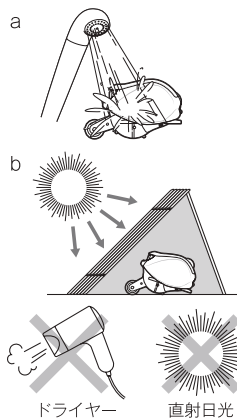
## ① 必ず竿から外してください。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例えば、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

## ② 水洗いしてください。

ドラグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1～2分間水洗いしてください。(図a)  
スプールが取り外し可能なモデルは、スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくとさらに効果があります。スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。

※温水はグリスを洗い流す可能性があるためお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。



## ③ 乾燥させてください。

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。(図b)

※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。

※隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は1日に1度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

## ④ 注油してください。

グリス、オイルは弊社純正品(下記参照)をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H (メンテスプレーセット)

SP-013A (オイルスプレー)

SP-023A (グリススプレー)

SP-015L (ザルスリールオイルスプレー)

※最寄りの販売店にてお買い求めください。

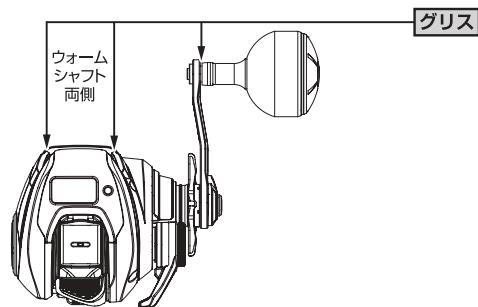
### 《注油上のご注意》

リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウエスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。

シマノ以外のオイルは使用しないでください。オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラグ部にはオイルは注さないでください。

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

### ●注油箇所



### ⑤ 保管上のご注意

保管の際は必ず竿から取り外してください。

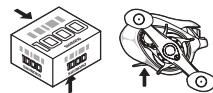
また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

# ■サービス及びライセンス情報

- 弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証いたしかねます。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理はお断りさせていただきます場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 不具合が生じた場合はそのままの状態でお買い上げの販売店へお持ちになり、詳しい症状をお伝えいただき、修理をご依頼くださいますようお願いいたします。
- 修理に出されるときは、お買い上げの販売店に現品をお預け願います。その際には必ず、不具合が生じたそのままの状態の販売店へお持ちいただき、修理箇所、不具合内容を具体的に（例 / ストップバーが動かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、ダイレクト修理サービス（[https://www.shimanofishingservice.jp/repair/direct\\_guide.php](https://www.shimanofishingservice.jp/repair/direct_guide.php)）をご利用ください。修理品は部品代のほか工賃を頂きますのでご了承ください。商品の故障などによって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧ください、製品名・商品コード・部品番号・部品名・パート No. をご指定のうえ、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。（例 / 製品名：ステラ C2000S 商品コード：043832 部品番号 131 部品名：スプール組 パート No.10TH0）ご自分で分解される場合の、分解、組立方法は弊社ではご案内致しかねます。
- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後 6 年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後 6 年以内でも供給できない可能性があります。

## ●商品コード / 製品コードの位置

パッケージ底面部もしくは側面部に製品コード及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



## ●ライセンス情報

弊社製品のソフトウェアにはオープンソースソフトウェアのプログラム（OSS）が含まれています。以下からご覧いただけます。  
[https://fish.shimano.com/ja-JP/campaign\\_redirect/qrcode/catalog/oss.html](https://fish.shimano.com/ja-JP/campaign_redirect/qrcode/catalog/oss.html)

## ■故障かな？と思われたときは

| こんなとき                  | 操作                                                                                                          | 参照    |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 液晶が真っ黒、あるいは全文字が現れる。    | 高温度の雰囲気（車のトランクの中等）にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。                                                 | —     |
| 液晶が表示しない。              | ボタンを押してください。<br>電池切れ、+の入れ間違い、接触等を確認してください。                                                                  | 50    |
| 糸巻き学習が完了できない。          | 巻き取り長さが糸巻き学習完了の条件を満たしていないことが考えられます。<br>お手数ですが再度学習の上確認ください。50m以上の長さの糸での学習をおすすめいたします。                         | 7～31  |
| ラインを送り出してもカウントしない。     | お手数ですが再度糸巻き学習の上、ご確認ください。                                                                                    | 7～31  |
| 船ペリ停止位置が違う。            | 巻き上げのテンションや糸の伸びの影響と思われます。水面での0セットを行なってください。<br>また、入力可能な船ペリセットは、1m～6m未満の範囲です。<br>0m～1m未満のセットは安全のため1mに設定されます。 | 38、40 |
| カウンター表示と実際の水深の誤差が大きい。  | お手数ですが再度糸巻き学習の上、ご確認ください。<br>糸が伸びて表示が不正確になる場合があります。                                                          | 7～31  |
| 液晶表示がうすい。              | 電池の消耗と考えられます。<br>低温（-5℃以下）にてご使用の場合、電池の能力低下で表示がうすくなることがあります。                                                 | 50    |
| 水深表示と、糸の水深色分けとが一致しない。  | 糸の種類により、使用中に糸が伸びること、およびラインテンションの変動により水深の表示との間にズレを生じる場合があります。                                                | —     |
| 電源投入時に英数字が2秒間表示される。    | 当社で使用する識別表示です。故障ではございません。                                                                                   | —     |
| 船ペリアラームや巻上距離アラームが鳴らない。 | 電池残量が少なくなったり、低温環境下でご使用の場合、アラーム音が鳴らなくなる場合があります。<br>電池を交換してください。                                              | 50    |

釣りを楽しく行っていたために、釣行前には必ず電源を入れてリールが正常に作動することをご確認頂きますようお願いいたします。

以上の確認を行っても直らない場合は、お手数ですがお買い上げになった販売店にお預けください。

その際に故障内容をできるだけ詳しくお伝えください。

### ●表示が下図のようになるときは…

**Er.1** 電池の消耗によるものです。  
新しい電池と交換してください。

**Er.2** 糸巻き学習が不正確な場合、  
「Er.2」が表示されます。  
再度学習をおこなってください。

**Er.3** お手数ですが1度電源OFF（ボタン6秒間長押し）後、  
再度ご使用ください。それでも再度表示される場合は、  
お手数ですがご購入先の販売店へお預けください。

# 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。



## 注 意



- 糸をリードするレベルwindに指を近づけて、釣りをしないでください。  
指をはさまれてけがをするおそれがあります。
- ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。



- 糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。
- メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。



- 回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。

株式会社シマノ 釣具事業部

本 社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ

**0120-861130**（ハローイサオ）【通話料無料】をご利用ください。

受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00（土、日、祝日、弊社休業日を除く）

■シマノホームページ アドレスは **www.shimano.com** です。

新製品情報・釣り情報など、フィッシングライブに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

(250602)

# SHIMANO